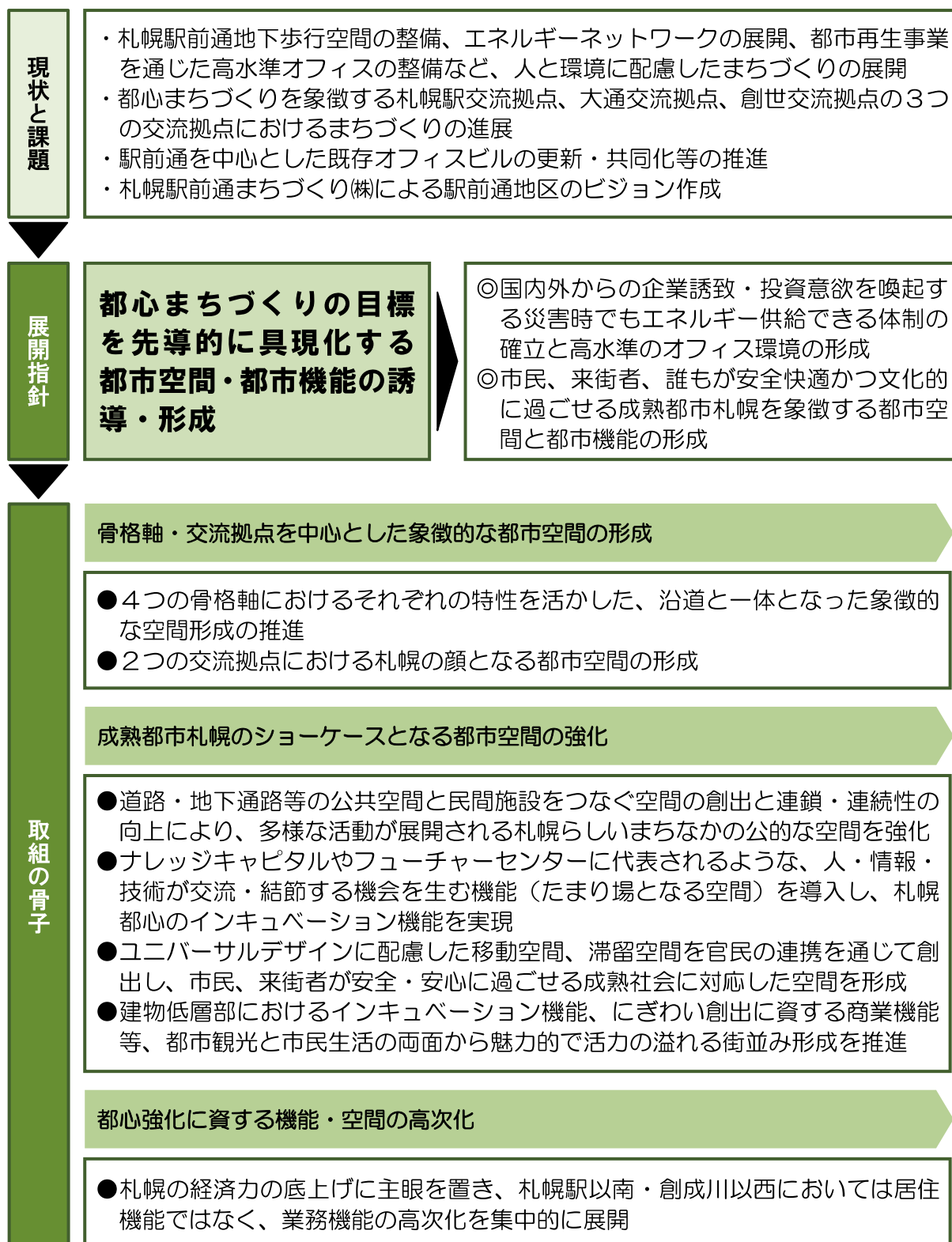


4 エリア特性に応じたまちづくりを進めるための取組

～都心の多様性を育てるターゲット・エリアのまちづくりの促進～

4.1 都心強化先導エリア



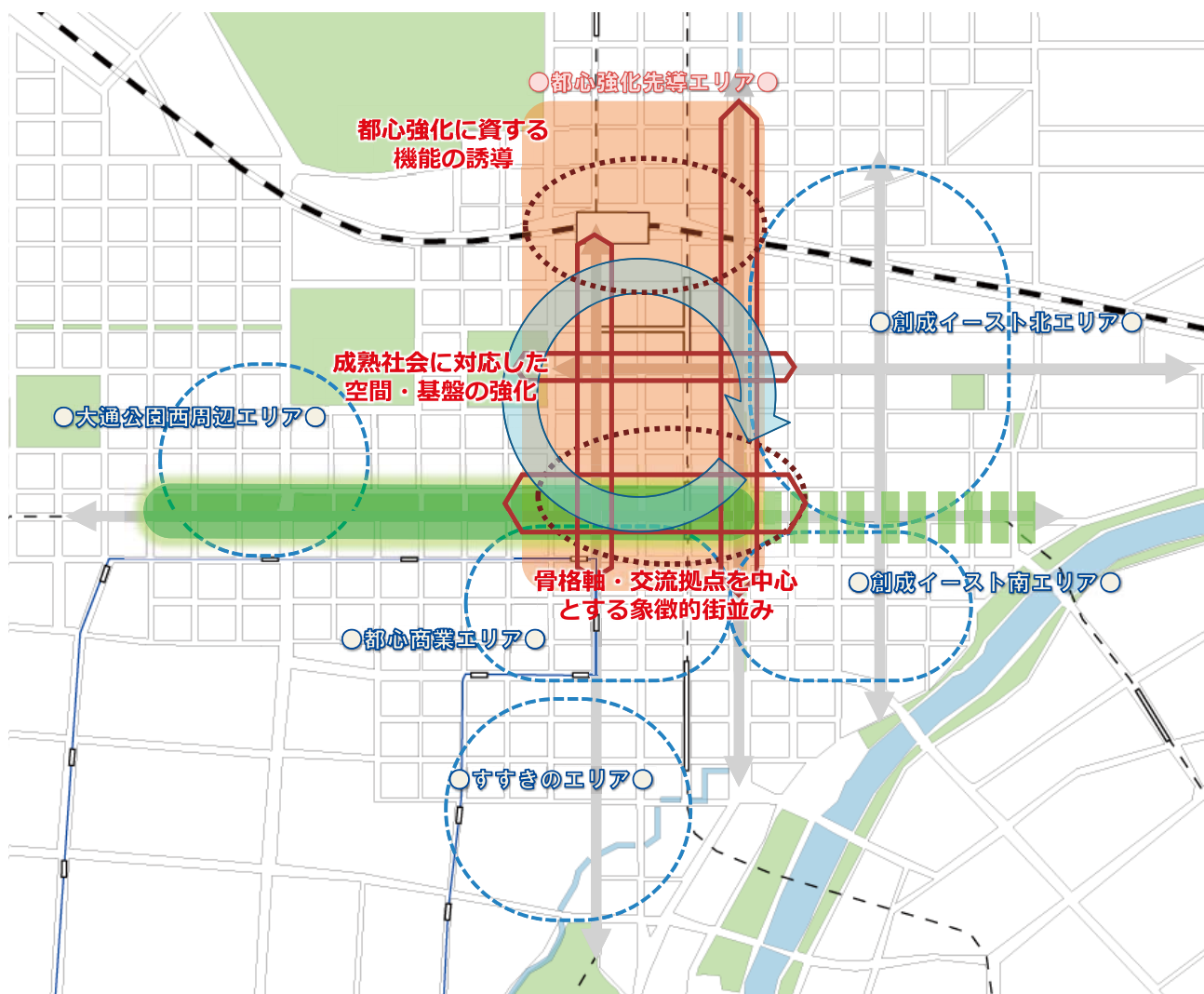
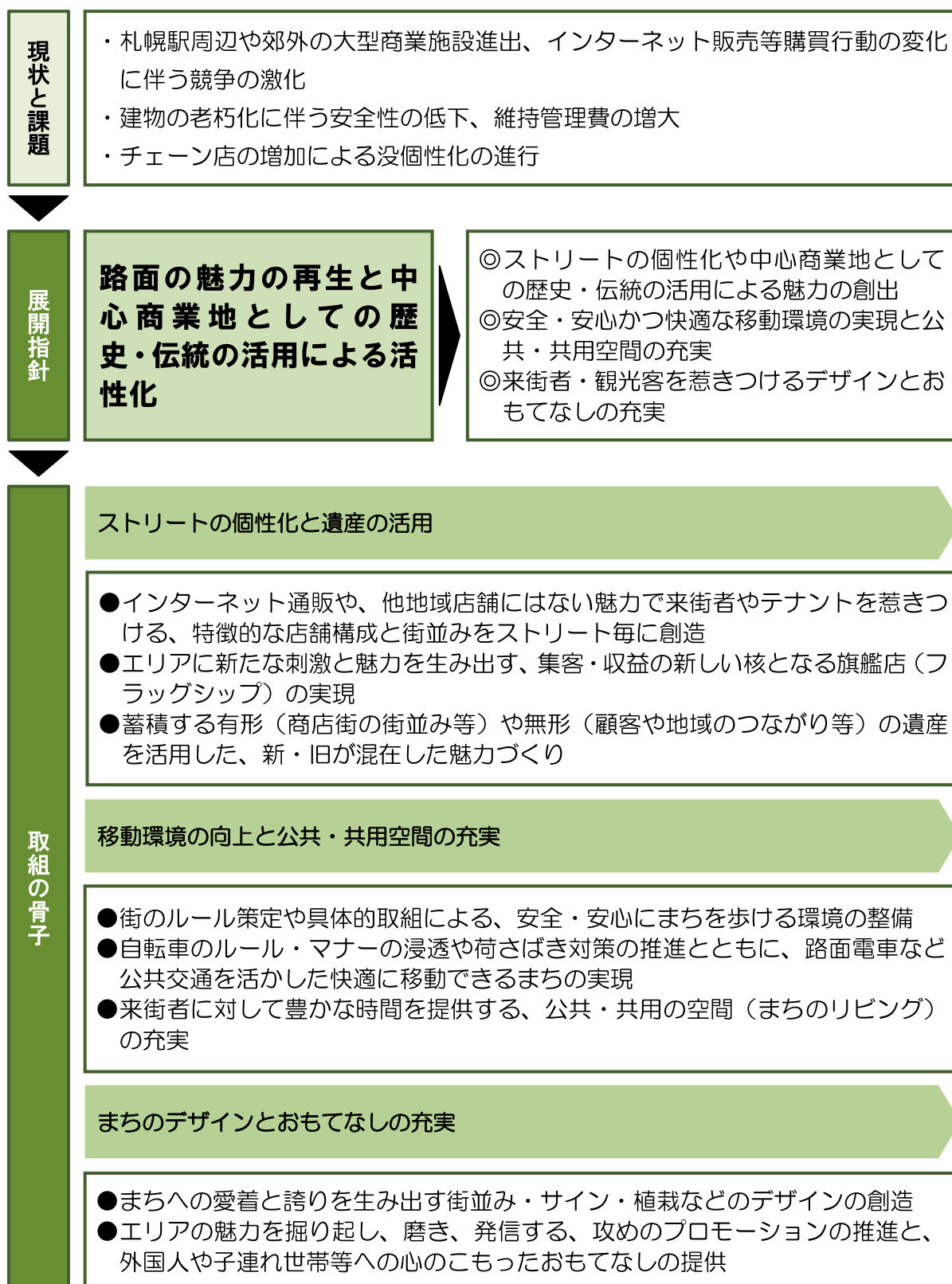


図 都心強化先導エリアにおける都市空間・都市機能の誘導・形成

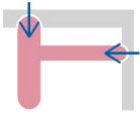
4.2 都心商業エリア



●地域と共に進める空間づくりの拠点

カ点1

エリアの一等地で世界を魅了し、まちの将来をかける

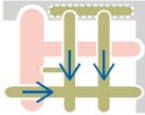


エリアの顔
『Tゾーン』



カ点2

『Tゾーン』から人の流れを引き込み、エリアの回遊性を高める

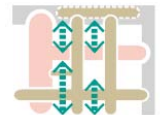


個性で挑む
『ストリート』

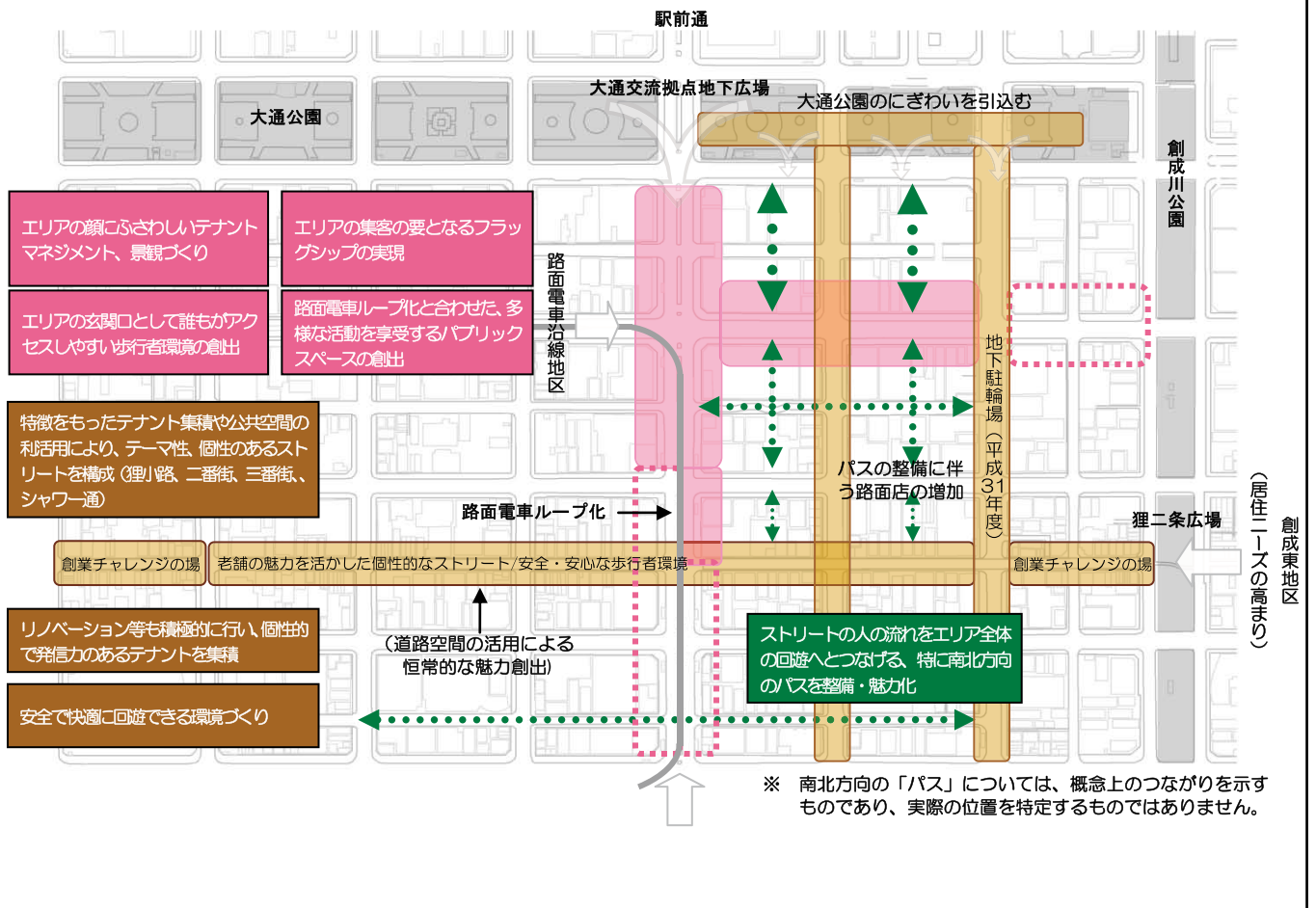


カ点3

界わい性のある歩行者空間で、人々を街区の奥まで誘い込む



まちの奥へと誘う
『パス』



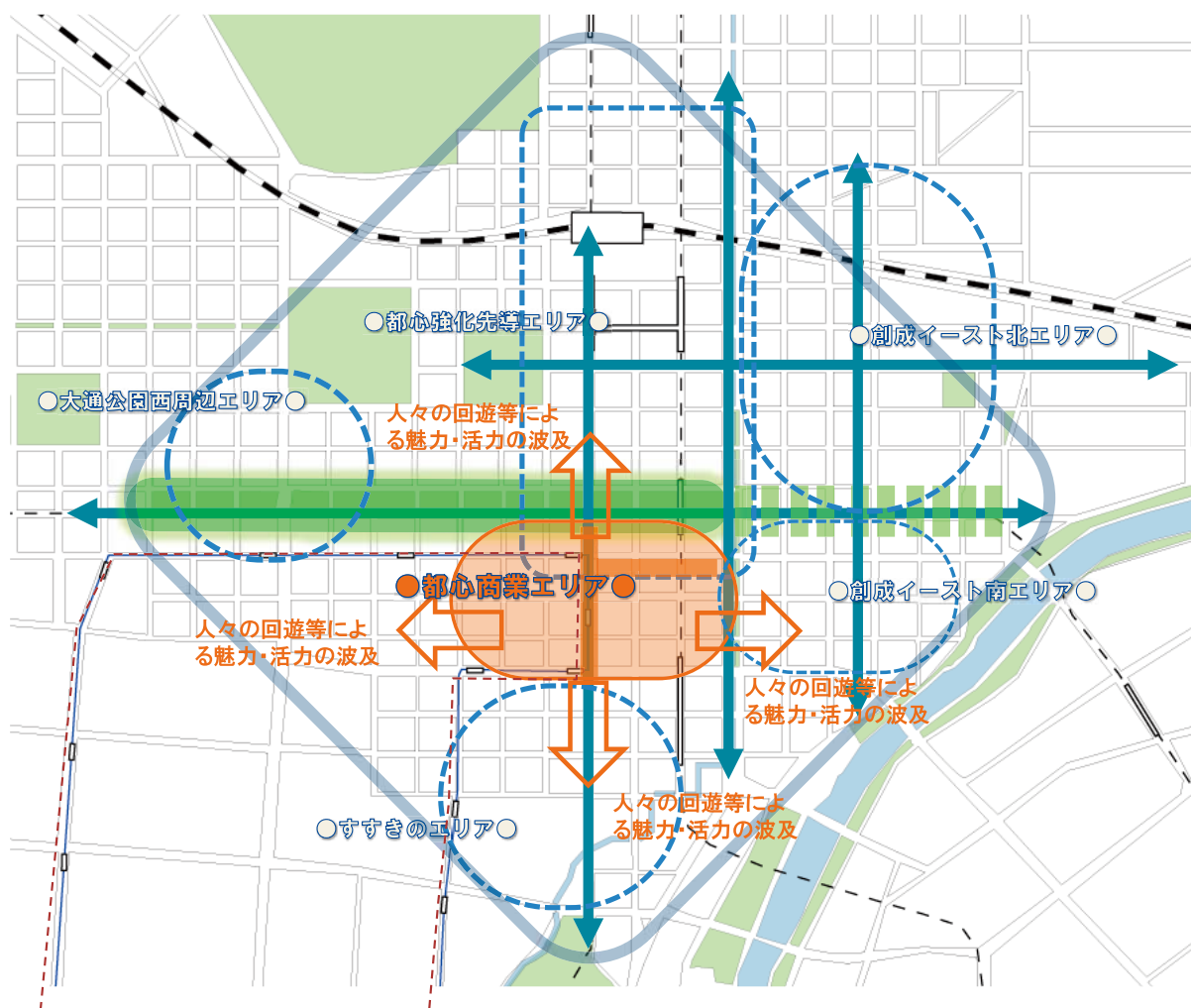


図 都心商業エリアにおける取組の他エリアへの波及

4.3 すすきのエリア

現状と課題

- ・長引く景気の低迷により飲食店が減少
- ・第9次都市再生プロジェクト※27のモデル地区への指定
- ・「(通称) ススキノ条例」※28の施行などを受けた、地元団体、関係行政機関などで構成される「クリーン薄野活性化連絡協議会(平成17年度)」の設置
- ・鴨々川ノスタルジア等、地区の関係主体から生まれたまちづくり活動の展開
- ・札幌開拓のレガシーであり、市民の憩い・交流の場である中島公園に隣接

※27 第9次都市再生プロジェクト：資料1参照。

※28 「(通称) ススキノ条例」：札幌市公衆に著しく迷惑をかける風俗営業等に係る勧誘行為等の防止に関する条例。

展開指針

観光交流・市民生活を充実させる歓楽街づくりと、中島公園をはじめとする周辺資源との連携

- ◎安全・安心な歓楽街づくりの促進
- ◎周辺資源とのつながりを感じる回遊ネットワークの充実
- ◎中島公園をはじめとした近隣観光施設との連携強化

取組の骨子

すすきのエリアの方向性検討

- 既存組織を中心としたエリア全体の方向性の検討
- まちづくり推進のための組織づくりとアクションプランの検討

安心感と魅力の向上

- 公共空間の安全対策や環境浄化活動による安全で安心なまちづくりの推進
- 夜間観光の魅力を高めるための魅力的な空間についての検討

資源活用と周辺との連携・連鎖

- 鴨々川や寺院をはじめとする歴史的建物等、エリア内の個性的な空間形成を支える資源のまちづくりへの活用
- 近隣の中島公園との連続性の向上や、観光交流や市民交流を支える資源の活用と機能強化の検討
- 札幌コンサートホール Kitara 等、近隣の文化資源とのつながりを高め、施設利用者の地区への流入を促進
- 札幌駅や大通公園西周辺エリアと連携した、札幌ならではのアフターMICE 環境の強化

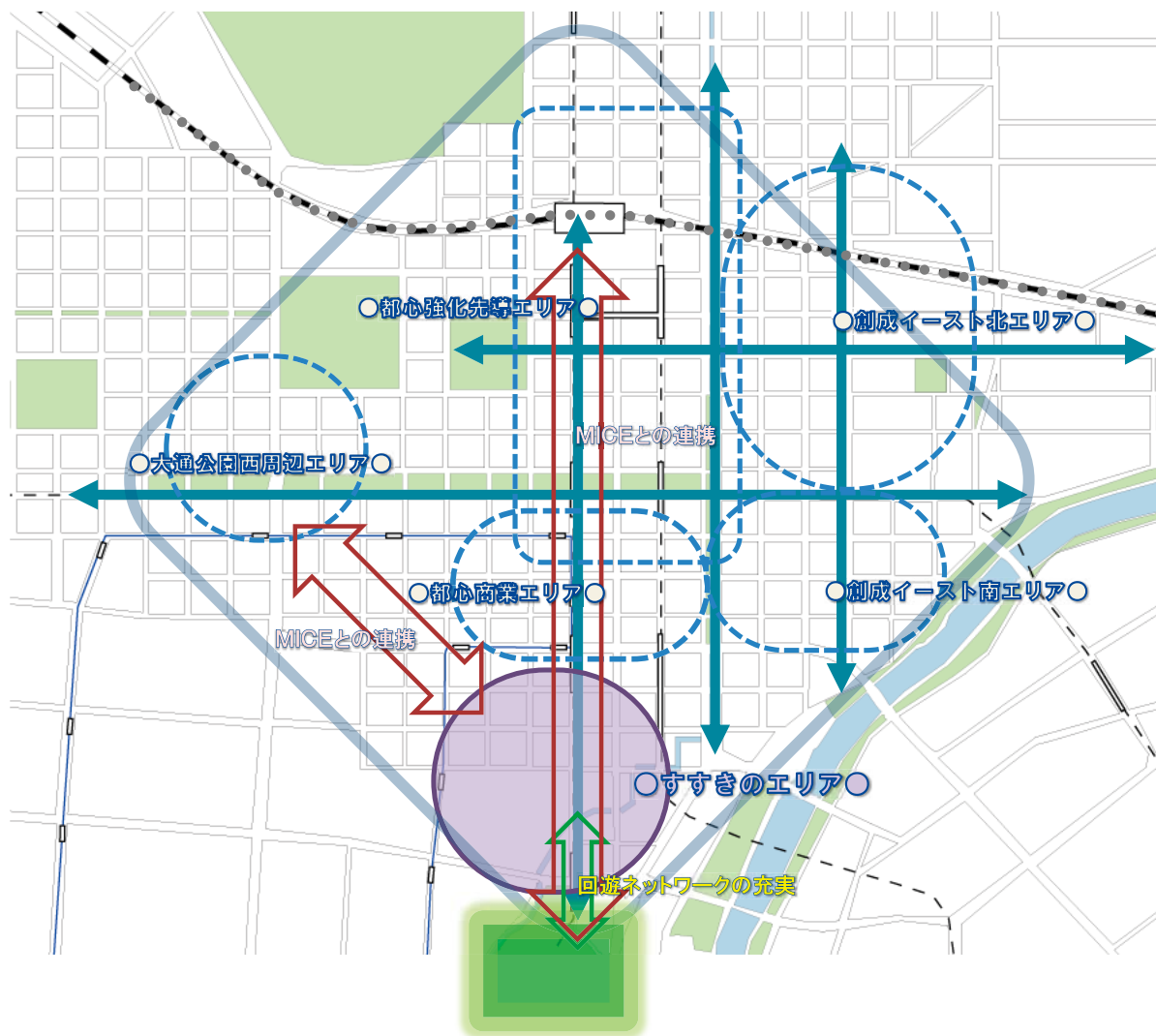


図 すすきのエリアにおける取組と他エリアとの連携

4.4 創成東地区（創成イースト北エリア、創成イースト南エリア）

現状と課題

- ・人口流入の急増と建物の老朽化に伴う空き地や、無秩序な開発進展のおそれ
- ・狸二条広場におけるにぎわい創出の取組
- ・500m美術館の常設化
- ・隣接する苗穂駅の移転に伴う新たなまちづくりの進展
- ・中央体育館の老朽化に伴う移転建替え
- ・様々な動きを束ね、地域の活力を高めるマネジメントの仕組みづくりの必要性

展開指針

人を中心としたコンパクトシティの実現を支える複合型市街地の形成と、観光・歴史資源を活かしたエリアマネジメントの展開

- ◎都心の利便性を享受しながら、人間性豊かな生活を実現する「創成東アーバンビレッジ^{※29}」の実現
- ◎職・住・遊近接のまちを実現する暮らしの場と、起業等により地区の新たな活力を創造する取組の促進
- ◎国内外の来街者が地区の魅力を感じることができるおもてなしの充実したまちづくりの展開
- ◎エリアマネジメント活動を通じた歴史資源、産業史資源等の付加価値の向上と活用促進
- ◎隣接する苗穂地区のまちづくりとの連携

※29 アーバンビレッジ：近年、欧米の多くの都市再開発や郊外住宅地開発において用いられている、都市づくりの新しいコンセプト。都市空間の中に、さまざまな刺激に満ちた現代的な都市生活を維持させながら、かつての村落が有していた人間性豊かなコミュニティ・ライフを回復させようとするもので、人間性・多様性・内発性の3つの視点を重視するもの。

取組の骨子

創成イースト北エリア

連鎖・連携の創造・波及

- 民間再開発、既存施設、交通拠点等との連携により地区を縦断する歩行者ネットワークの形成を図るなど、都心居住の受け皿となる創成東地区における通年の安全・安心な回遊環境を実現
- 民間開発を通じたエネルギーネットワークの形成を推進し、環境共生型の複合市街地の形成を実現
- 老朽化した中央体育館の移転建替えに伴い生じる跡地を中心に、小学校等の周辺の既存施設、まちづくり動向との連携を視野に入れた有効利用の検討
- 起業意欲に応えるリノベーションまちづくりの推進
- 既存の観光資源を中心に、国内外からの来街者を受け入れるおもてなしのあるまちづくりの推進

資源活用を視点としたマネジメントの推進

- 二条市場、酒蔵工場等、創成東地区の重要な歴史資源との連携、地域住民との連携を図り、ものづくりの文化・暮らしの豊かさを実感できる活動を展開するなど、地区にある資源を最大限活用したエリアマネジメント活動を推進
- 既存の観光資源を中心に、国内外からの来街者を受け入れるおもてなしのあるまちづくりの推進

ストック活用の促進

- 500m美術館・狸二条広場などの公共的空間や神社などをまちづくりにおける活動空間・交流の場として活用し、地区のにぎわい・活力を創造
- リノベーション等による老朽ストックの暫定活用等、地区の既存の街並みを活かしつつ、創成東地区ならではの新たなチャレンジ・場づくりを推進

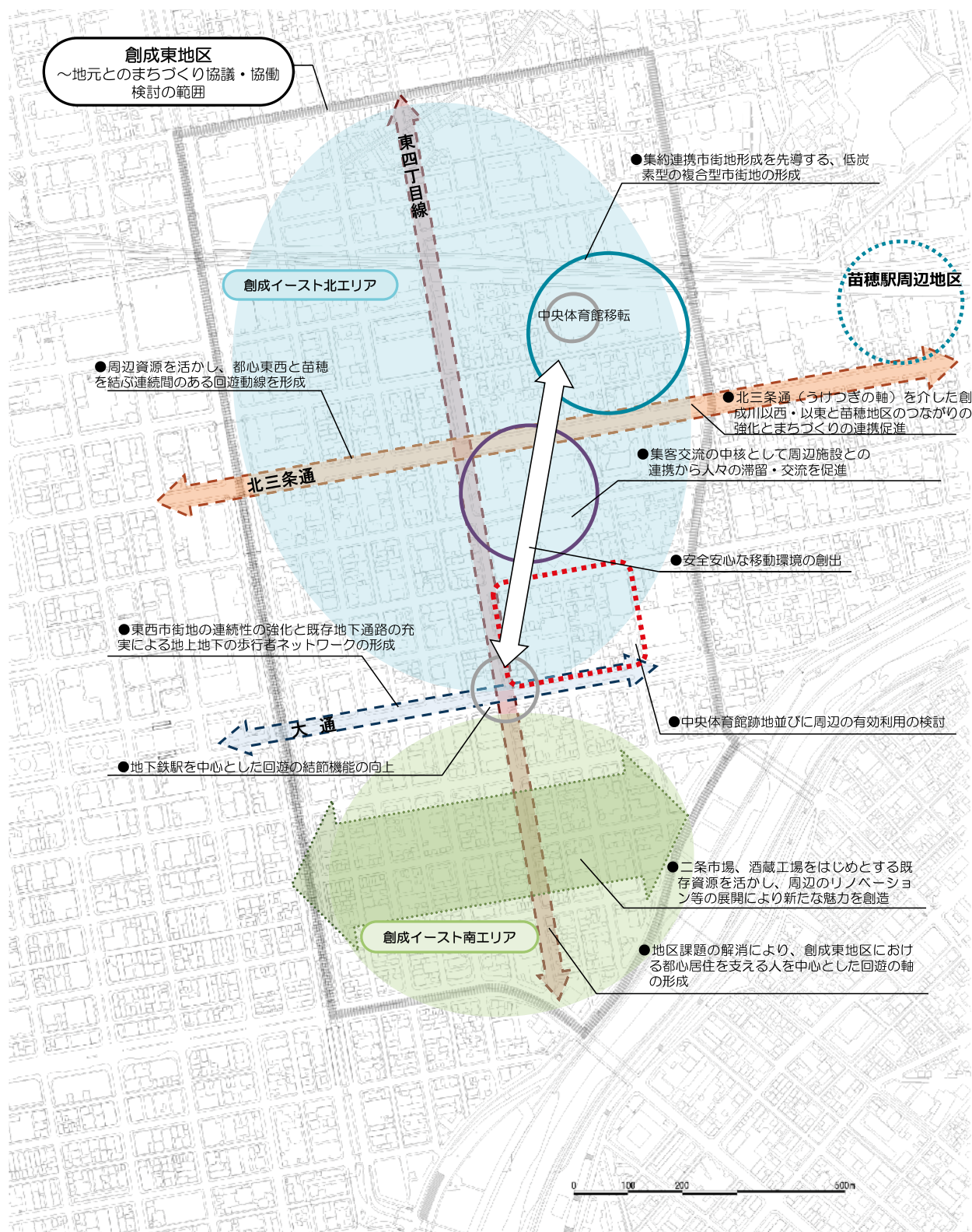
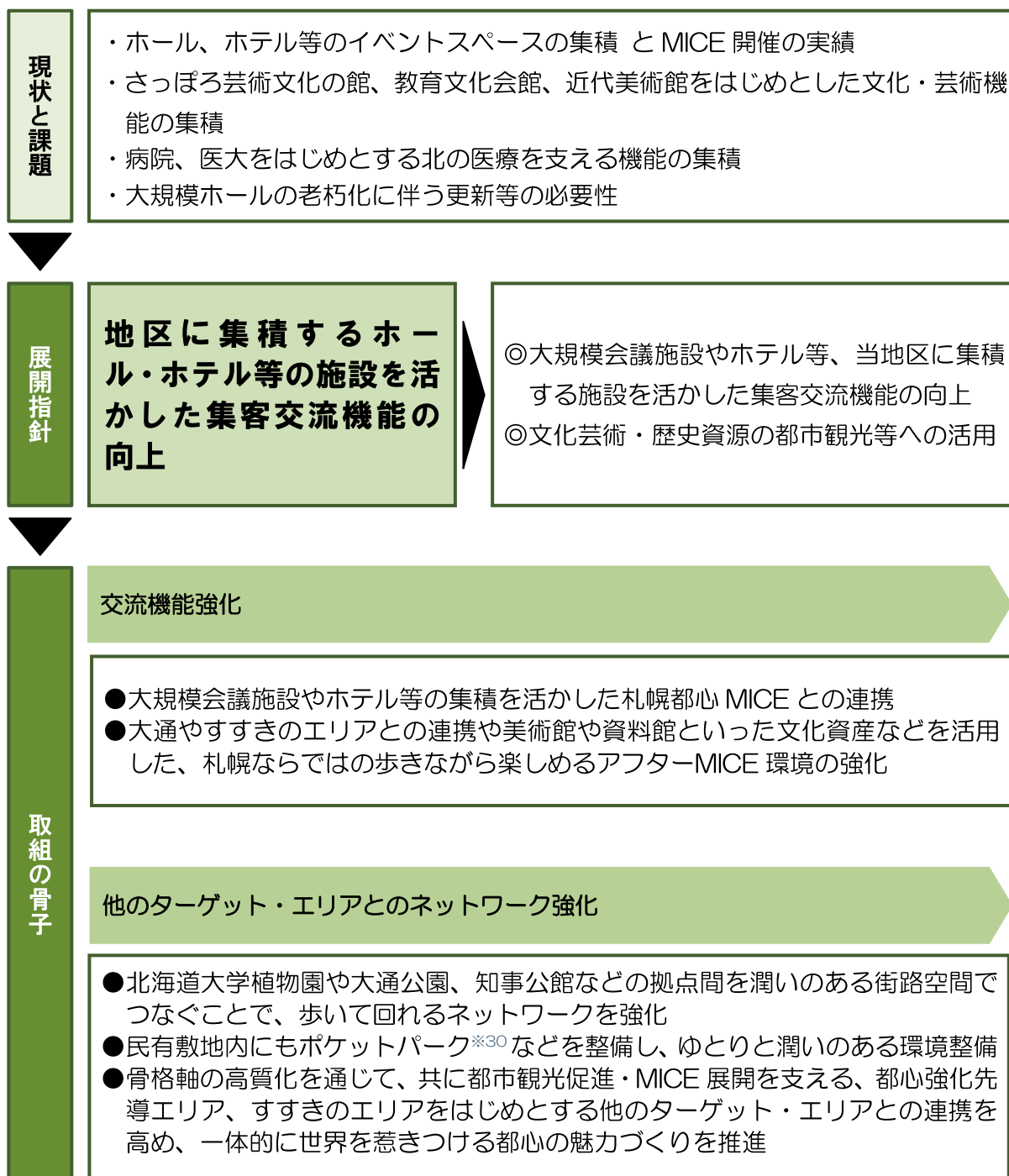


図 創成東北、南エリアにおける取組

4.5 大通公園西周辺エリア



※30 ポケットパーク：まちの一角などに設けられる小公園。

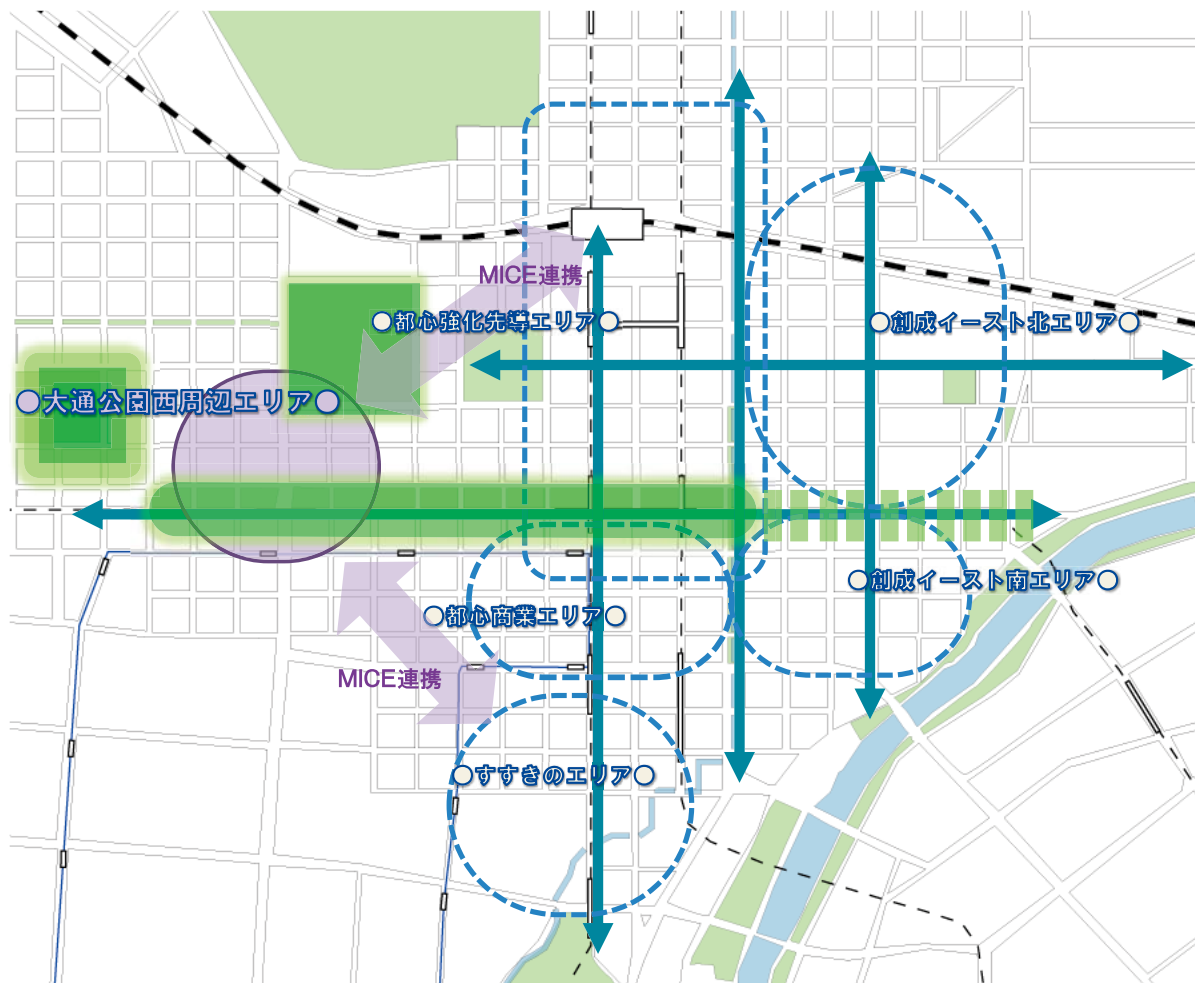


図 大通公園西周辺エリアと他エリアとの連携

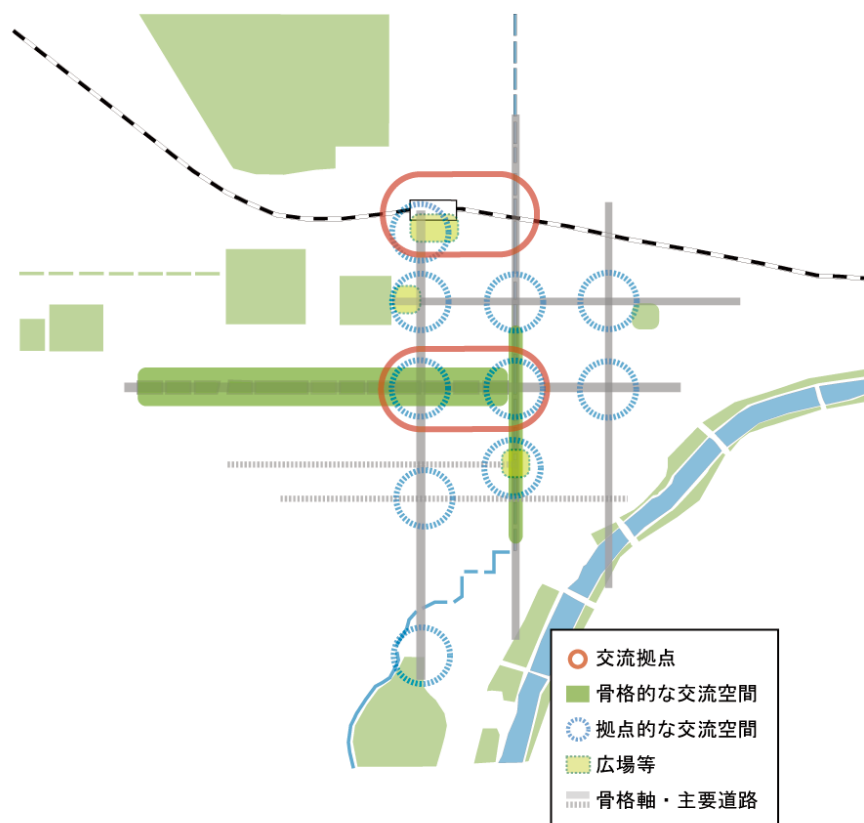
5 都心全域を視野に入れた空間形成指針

骨格軸や展開軸、交流拠点、ターゲット・エリアからなる都心の市街地形成に係る骨格構造に加え、都心全域においてきめ細やかな空間形成を図ることにより、奥行きのある都心の空間が生まれます。さらに、こうした空間の連鎖によって市民や来街者等、多様な人々の活動の選択性と魅力が生まれ、都心の価値を高める上では重要となります。その具体的な展開に際しては、以下の3つの観点から空間形成の方向性を定めることとします。

視点① 交流空間の創出

主に、回遊の基軸となる骨格軸の結節点は、市民、来街者が都心における多様なアクティビティに触れ、都心のにぎわい・活力を体感できる豊かな空間を備えるべき場として重視し、これらを「拠点的な交流空間」として位置付けます。

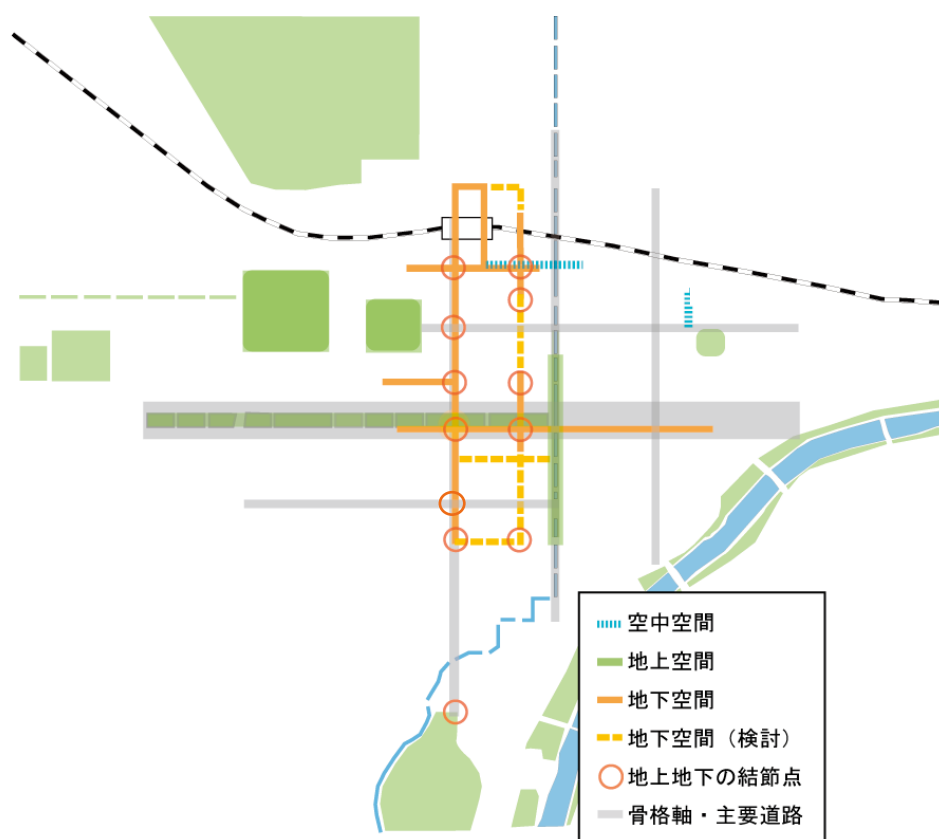
また、大通公園を始めとする象徴的なみどりの空間や、交流拠点における象徴性のあるパブリックスペースは、「骨格的な交流空間」としての役割を併せ持ち、骨格軸や拠点的な交流空間を介して連鎖・ネットワークし、新たな回遊、交流を創出・強化することを目指します。



視点② 地上・地下の重層的ネットワークの形成

積雪寒冷地札幌の四季を通じた市民や来街者の安全・快適な回遊を支える都心の重要な資産である地下空間ネットワークを活かし、沿道の民間ビルの建替え更新等を通じた接続により、地上部の回遊空間の充実を図りながら空間の選択性を高めます。これにより、都心における公共施設、民間施設の連鎖による重層的かつ多様な地上地下のネットワークを強化・拡充します。

さらに前述の交流空間の形成と合わせて回遊の結節点における四季を問わない滞留・交流の場づくりを図りながら、重層的ネットワークとの連携性を高め、質の高い、札幌らしい公共空間の創出を図ります。



視点③ 界わい性と奥行きのある公共的空間の連鎖

建物内の貫通通路や建物と建物間の通路など多様な歩行者動線を配置・活用して、パブリックスペースのきめ細かなネットワーク形成により、表通りだけではない奥行きのある都市空間の形成を促進します。その際、公共的機能を持つ施設や広場的空間への行きやすさの確保を重視します。

こうした取組により、表通りとしての骨格軸における象徴的な回遊動線とは異なる、界わい性を備え、まち歩きを通じた新たな都心の魅力を発見できる空間形成を図ります。

